

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 35

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		ほたて漁場環境整備事業				
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	水産係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	課長補佐兼水産係長
		氏名	石井 弘道		氏名	大石 嗣夫
事業の概要	平成18年10月に発生した低気圧の影響で、ホタテ操業海域に大きな変化(凹凸の起伏)が生じている為、底質改善をすることで生息環境を整備し、生存率及び漁獲率の向上を図る事業を実施している漁業協同組合に補助金を交付している。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 21 年度) 事業費 国・道支出 0 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 20,000 千円 事業費計 20,000 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
	基本施策	3 水産業の振興				
	単位施策	1 水産資源の保護・増大				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	10,000 千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	10,000 千円	千円	千円	千円
	合計	10,000 千円	10,000 千円	千円	千円	千円

131

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内業漁者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	低気圧被害対策(ホタテ漁場の沖合い移動)	漁場環境整備面積				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漁場の回復・改善	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	漁場環境整備面積	目標年度	平成21年度
				目標値	2,925 m ²	
				実績値	2,925 m ²	
				達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	ホタテ貝漁業の安定生産(生存率及び漁獲率の向上)			目標年度		
				目標値		
				実績値		
				達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
事業実施機関への助成	平成21年度本操業海域及び平成22年度稚貝放流海域の魚田沖C海域2,925haの漁場環境整備を実施した。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	低気圧被害により海底に大きな変化が生じており、今後のホタテ漁業の安定的な生産を図るためには、漁場環境の改善が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	漁場の回復・改善をすることにより、ホタテ貝の生息環境が整備され、生存率及び漁獲率の向上が図られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	時化被害による漁場の回復・改善をすることにより、ホタテ貝の生息環境を整備しているもので、事業費削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず加工業者にも影響のあるもので、水産業の安定化には必要不可欠であり、事業主体が全体事業費の約60%を自己財源としている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず、加工業者にも影響のあるものであり、本町の水産業の安定化には必要不可欠な事業である。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	終了		
所期の目的を達成したので、終了とする。			
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--